

製本キット 授業指導案(ju:tale)

■ねらい

- ・本の構造や製本工程を体験的に理解する
- ・自分のアイデアを形にする表現力を育てる
- ・ものづくりを通じて主体的に取り組む力や達成感を育む
- ・製本工程を体験することで、身近なものが作られる背景を理解する
- ・素材や資源について考え、ものを大切にする意識を育てる

ハリネズミのちょこっと製本(導入・低学年向け)

■ 授業の流れ

- ・導入(5分):素材選びと説明
- ・制作(20分):表紙貼り+組み立て
- ・まとめ(5分):完成・共有

■ 対象

- ・幼稚園～小学校低学年

■ 授業時間

- ・約30分

■ 内容

- ・布や紙を選ぶ(事前準備素材)
- ・表紙配置を考える
- ・のりで貼り付ける
- ・本文と表紙を貼り合わせる

■ 指導ポイント

- ・力が弱くても制作可能
- ・初めての製本体験に最適

■ 運用

- ・小学校中学年以上は1クラス30名程度まで対応可能
- ・幼稚園～低学年では補助員がいるとスムーズに進行可能

■ 活用

- ・思い出素材で制作
- ・持ち帰り作品

■ 用意するもの

- ・ハサミ
- ・スティックのり
- ・表紙用素材(A5サイズ程度の布・紙)
- ・ウェットティッシュ(手ふき用)



ヒツジのえほん製本(表現活動型)

■ 授業の流れ

- ・導入(5分):テーマ説明
- ・表紙制作(40分):絵を描く
- ・製本(30分):貼り合わせ
- ・まとめ(5分):共有

■ 対象

- ・小学校高学年～

■ 授業時間

- ・約80分(表紙40分+製本40分)

■ 内容

- ・テーマ設定
- ・表紙に描画
- ・本文構成(任意)

- ・製本工程
- ・作品共有

■ 使用画材

- ・色鉛筆／クーピー／クレヨン推奨
- ・絵具を使用する場合、紙が反ったり、絵具が裏面に染みることがある

■ 指導ポイント

- ・表紙の向きを確認する
- ・絵本用紙の特性上、水分が乾くまで時間がかかる
- ・表紙保護用の保護フィルム貼りにコツが必要
- ・本文制作は追加時間必要

■ 運用

- ・1クラス30名まで対応可
- ・低学年は補助員推奨

■ つまづきポイント

- ・表紙の構造の理解
- ・乾燥時間

■ 活用

- ・オリジナル絵本
- ・作品展示

■ 用意するもの

- ・ハサミ
- ・スティックのり
- ・表紙用画材
- ・木工用ボンド
- ・ウェットティッシュ

クマのてづくり製本(構造理解型)

■ 授業の流れ

- ・導入(5分):構造説明
- ・制作(30分):表紙作成+組み立て ※必要に応じて保護フィルム貼り
- ・まとめ(5分):共有

■ 対象

- ・小学校高学年～

■ 授業時間

- ・約40分

■ 内容

- ・布や紙を選ぶ(事前準備素材)
- ・配置設計
- ・表紙作成
- ・組み立て

■ 指導ポイント

- ・表紙の保護フィルムを貼る場合はコツが必要
- ・構造理解に適する

■ 運用

- ・1クラス30名まで対応可
- ・低学年は補助員推奨

■ つまづきポイント

- ・保護フィルム貼りは、空気が入らないようゆっくり貼るのがポイント
- ・表紙を折りたたんで芯材に貼り付けた時に粘着力が足りず剥がれる(ボンドで解消)
- ・本文と表紙の向きが逆にならないようによく注意する

■ 活用

- ・日常使いノート

- ・思い出素材
- 用意するもの
- ・ハサミ
- ・スティックのり
- ・木工用ボンド
- ・ウェットティッシュ
- ・表紙用素材(布・紙)



ゴリラの匠製本(本格技術型)

■ 授業の流れ

- ・導入(10分):構造・縫製説明
- ・制作デザイン(60分):表紙デザイン
- ・制作組み立て(90分):表紙作成+糸綴じ+組み立て ※必要に応じて保護フィルム貼り
- ・まとめ(20分):共有

■ 対象

- ・高校生以上

■ 授業時間

- ・約120~200分
- ・完成後一晩乾かす時間必須

■ 内容

- ・表紙デザイン制作
- ・表紙裏に設計図を書く
- ・表紙作成
- ・返し縫いによる製本
- ・組み立て

■ 指導ポイント

- ・返し縫い理解が必要
- ・針使用注意

■ 運用

- ・少人数または補助者推奨

■ つまづきポイント

- ・構造理解不足
- ・縫製理解不足

■ 活用

- ・本格製本体験
- ・一貫制作

■ 用意するもの

- ・ハサミ
- ・デンプンのり
- ・木工用ボンド
- ・ウェットティッシュ
- ・表紙の素材
- ・鉛筆
- ・紙皿